

日本建築学会北海道支部 2003 年度第 2 回常議員会議事録（案）

日 時：平成 15 年 9 月 24 日（金）17:30～19:00

場 所：日本建築学会北海道支部事務所（大通ダイヤビル）

出席者：支部長：石山

常議員：齊藤、佐藤孝、佐藤哲、那須、小幡、菊地、中原、向山、長谷川、山之内

総務委員会委員長：後藤

AIJ-JIA 合同委員会：中岡

配布資料

【報告事項及び承認事項】

2003 年度第 1 回常議員会議事録（案）	・・・・・・・・資料 2 - 1
支部経理状況	・・・・・・・・資料 2 - 2
北海道建築設計会議報告	・・・・・・・・資料 2 - 3
支部活動に関するアンケート（取りまとめ結果）	・・・・・・・・回覧資料
後援依頼	・・・・・・・・回覧資料

【議題】

2004 年度全国大会（北海道）について	・・・・・・・・資料 2 - 5
支部表彰制度について	・・・・・・・・資料 2 - 6

議事内容

【報告事項及び承認事項】

2003 年度第 1 回常議員会議事録（案）（菊地 / 資料 2 - 1）

- ・ AIJ-JIA 運営委員会の担当の 2 名、佐藤（哲）、菊地は AIJ-JIA 運営委員会の正式メンバーではないことを確認。（後藤）
- ・ 氏名の修正をもって、承認された。

理事会・支部長会議報告（石山 / 資料なし）

- ・ 7 月理事会は那須常議員が代理出席し、各種報告の他、新支部長の挨拶などがあった。
- ・ 8 月は理事会なし。
- ・ 9 月は担当理事会で支部長は出席しない。各種報告が主な議題であった。

支部経理状況（後藤 / 資料 2 - 2）

- ・ 6、7 月の経理状況が報告された。
- ・ 本部からの経営助成費の入金（3 回のうちの第 1 回目の入金）があった。
- ・ 表彰関係（卒業優秀作品・優秀学生・北海道建築賞）と支部研究報告会に支出があった。
- ・ 収入・支出状況は例年通りであり、特に問題はなく承認された。

全国大会実行委員会進行状況報告（石山 / 資料なし）

- ・ 8/8 に実行委員会が開催された。
- ・ 未定であった副委員長に小林、西、谷の 3 氏に決定された。
- ・ 支部長経験者、業界 6 団体会長、札幌市に大会顧問になって頂くよう依頼を行う。
- ・ テーマは「ささえる」とする。
- ・ 今年度の全国大会の最終日に、東海支部と情報交換を行い、パワーポイントを使用した発表方式について検討を行うこととなった。
- ・ 次回の実行委員会は 10/16 に開催予定。

- ・ 異議なく、承認された。

北海道建築設計会議報告（中岡 / 資料 2 - 3）

- ・ 共通課題として CPD への取り組み強化を掲げる。
- ・ 設計会議の社会アピール活動を実施する。
- ・ 10/25 に網走市で開催される「北の家づくりフェア」にてパネルを展示する予定である。パネルの構成は設計会議 3 枚、構成各会 1 枚ずつの合計 8 枚とする。学会支部のパネルは佐藤孝、向山が担当する。

支部活動に関するアンケート（菊地 / 回覧資料）

- ・ 本部より支部活動に関するアンケート調査の依頼があった。
- ・ アンケート内容は、支部活性化の事例、支部委員会活動、能力開発支援制度の 3 項目。
- ・ 締め切りは過ぎており、アンケート結果が得られていない専門委員会主査に対して催促を行った。

後援依頼（菊地 / 回覧資料）

- ・ 以下の 2 件の後援依頼が報告され、承認された。
 - 1) 北海道「北の家づくりフェア」
 - 2) 旭川まちなみデザイン推進委員会「第 14 回旭川建築作品発表会」

公共建築の設計者選定方法の改善についての提言（石山 / 資料 1 - 6）

- ・ 建築関係 5 団体（建築学会、建築士会、事務所協会、家協会、建築業協会）にて、公共建築の設計者選定方法の改善についての提言がまとめられ、承認後に 5 団体名にて公表する予定。
- ・ 異議なく承認された。

【議題】

2004 年度全国大会（北海道）について（石山 / 資料 2 - 5）

- ・ 大会準備の活動費として 100 万円の前渡金が本部より支給された。
- ・ 異議なく受領が承認された。

支部表彰制度について（那須 / 資料 2 - 6）

- ・ 表彰規定（案）が示された。
- ・ 規定に表彰名を入れる必要あり。「功労賞」など。
- ・ まずは法人賛助会員から表彰を行いたい。
- ・ 推薦組織は専門委員会のみではなく、再考を要する
- ・ 次回の常議員会までメールにて表彰規定（案）の検討を継続する。

卒業設計展示方法の変更について（佐藤孝 / 資料なし）

- ・ 市内で会場を借り展示する作業に、予算上も含め困難な状況にある。
- ・ 現在の展示方法を Web 上に表示する方法（Web ギャラリー）に変更する。
- ・ Web ギャラリーの方法によればデータベースの蓄積を兼ねることが可能となる。
- ・ 応募の際にデジタルデータ（図面 2 枚程度）を作品と合わせて受け取る。
- ・ 募集要項には学会の Web 上にて公開する旨を盛り込む。
- ・ 工業高校では Web ギャラリーへの変更のコンセンサスが得られている（小幡）。
- ・ 今後、データの受け渡し、Web ギャラリーでの表示方法等について検討を継続する。

次回の予定：12月18日 17:30～

以上